

## チャレンジ項目記入数 5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を事務所に掲示し、経営者は、会社のあるべき姿を従業員に社内会議で説明し共有している。 ・従業員は、自ら使命を理解し、やりがいを感じている。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・社内外の研修会への参加や勉強会の実施を行い、法令順守を徹底している。 ・反社会的勢力との取引は行っていない。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引先や仕入れ先等に対し、不当な値引き圧力がないか、社長が確認している。										10								16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社会に迷惑をかけないこと、環境に負担を与えないことを意識して企業活動を行っており、社長がその担当と責任者を担っている。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産に関する研修や勉強会を実施している。								8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・お客様の個人情報や社員の個人情報はパソコン本体ではなく、USBに保存し、鍵のかかる所に保管し誰でも閲覧できないようにしている。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客の声(特に苦情)を大切にし、説明会や工程会議を行い双向コミュニケーションに取り組んでいる。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先の活動に配慮し、特に人権侵害や差別がないように取り組んでいる。 ・月1回の現場ごとの安全衛生会議で協力会社や取引先とはお互いの立場を尊重した情報交換と勉強会を行い、問題意識の共有に取り組んでいる。				5			8	10	12	13	14	15	16	17					
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9	11	13.1								16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・事業承継セミナーへの参加、顧問弁護士や顧問税理士によるアドバイスを受けながら、後継者の指導・育成に取り組んでいる。					8	9												17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2		5		8				12	13	14	15	16	17				
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進や登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・現場の整理整頓を徹底している。 ・熱中症防止のため、空調服の支給と水分と塩分の支給を実施している。 ・現場では毎朝の朝礼で墜落防止用器具や服装の点検など危険予知活動を徹底し、新規入場の下請業者に対しては労働災害防止のための説明を徹底している。		3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員、パート社員)の公正な待遇を行っている。 ・社員勉強会を開催し、全社員の幅広い知識・教養の形成を図っている。				5.5			8.5 10.2 10.3												
	15	【ワーカライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワーカライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理をし、多い社員には呼びかけや作業の振り分けを行っている。 ・有給休暇の取得奨励を実施している。		3	5.5			8.5 8.8	10.3												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修や資格試験の経費を支給している。 ・社員勉強会を実施している。		4	5.5			8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎朝の朝礼時に交通事故等への注意喚起や健康状態の確認を行っている。 ・健康診断の経費補助を行い社員の健康管理を行っている。		3				8											17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・雇用、昇進等に男女の差別的待遇がないよう徹底している。 ・高齢者の雇用も行き、十分に活躍できる環境を整えている。			4.4 5.5	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3										16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・出入口に消毒液を設置し、全員マスクの着用をしている。 ・ウェブ会議を積極的に導入している。 ・会議室の換気を常に行い、距離をおいて座り短時間の会議に取り組んでいる。		3					8 9.1	11 12											
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・テレワークやWeb会議の導入を積極的に行っている。 ・全従業員にノートPCとメールアドレスを配布している。 ・工事現場事務所ごとにポケットWifiを導入している。 ・発注者との打ち合わせをWeb会議で行ったり、情報共有システムを使い発注者とのやり取りや工事書類の作成をWebで行っている。							8 9.1	11 12											
	21	【プライベート企業】 ・プライベート企業に認定されている。	●			3	4					8 9	12											

チャレンジ項目記入数 5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物や有害物質を把握し、適切な管理及び処理を行っている。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1	
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易シートを用いてエネルギー使用量を算出し、社内の電気は交換時LEDに入れ替え、社員全員で節電の徹底に取り組んでいる。 ・社用車全車両にドライブレコーダーを取り付、運転の特性把握に役立てている。							7.3							13			
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いて計画的にCO2排出量の抑制を徹底している。 ・使用していない部屋のエアコンや照明の使用を禁止している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、プラスチック製品の適正な利用や(ペットボトルはラベルをはがし、洗浄して、キャップは分別して廃棄)、レジ袋の使用削減に取り組んでいる。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内で発生する廃棄物は分別し、適正に処理している。 ・使用済み封筒やミスコピー用紙の再利用で、紙資源のリユースに取り組んでいる。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内で節水に取り組み、現場では地下水等に影響がないように汚水等を適切に処理している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙(FSCラベルの製品)やグリーン購入法適用商品の購入を積極的に行っている。							9.4				12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・オフィスに観葉植物を配置し、緑化に取り組んでいる。											11.6 11.7	13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"使って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●										9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数 5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・各現場の安全パトロールと品質証明員による社内パトロールを月1回以上実施し、安全の確認や品質の確保に取り組んでいる。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・工事の際は、地域の皆様に分かりやすい内容と見やすいフォントを使用した看板を設置している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3	2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●									7					12.2	13.1			15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3	2.4						8.2	9.2		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・会社で所属している協会や組合で行われるボランティア活動に積極的に参加している。 ・従業員に対し、居住する地域の活動に参画するよう奨励している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップを誰でも確認できるように事務所に掲示とファイリングしている。				4								11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●												9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●						4						8.6		10.2						17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●						4.4						8.5	8.6							17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3	4.4	4.5				8.6		10.2		12	13	14	15	